

## やまなしデータ de ヘルス事業について

### 1 目的

医療費適正化推進のため、個人の医療データ等と連携したスマートフォン用アプリケーションによる健康づくりを支援する事業を実施する。

### 2 現状及び課題等

国民健康保険の被保険者数は減少傾向にあるが、一人当たり医療費は年々増加傾向にあり、厳しい財政状況が続いている。平成30年度から県が財政運営の責任主体となったことから、積極的に医療費適正化に取り組んでいく必要がある。市町村でも医療費適正化や健康の保持増進のために、様々な取組を実施しているが、今後は、健康に対する関心や症状等に対する取組のレベルに応じた支援が必要となってくる。

このため、医療費適正化の新たな手法として、スマートフォンアプリを活用することにより、これまで行政が取り込むことが困難であった健康無関心層等へ働きかけ、健康への意識付けを行うことで、行動変容を促し、医療費適正化及び健康の保持増進を図っていく。

### 3 事業概要

#### ①内容

国保データベースと連携し、個人の特性を反映したスマートフォン用アプリケーションを開発する。

スマートフォン用アプリを活用した健康づくり活動(ウォーキングや健診受診等)を促すため、活動実績に応じてインセンティブを付与する仕組みを構築する。

#### ②事業規模

国民健康保険加入者(19歳以上の被保険者)を対象とし、被保険者の1%以上の登録者を想定している。

#### ③成果連動型の事業(複数年事業)

事業実施による効果を委託費に連動させる成果連動型の事業とし、アプリ登録者と非登録者の医療費とを比較することにより、その効果(削減額)を算出する。初年度にシステム構築し、3年間運用し、毎翌年度にその成果を評価する。

年度	内 容	財 源	予算(上限)
令和元年度	公募型プロポーザルの実施 システム構築(アプリ開発)	国特別調整交付金(都道府県 国保ヘルスアップ支援事業)	8,360 千円
令和2年度	アプリ運用	保険者努力支援制度交付金 (都道府県分)	3,960 千円
令和3~4年度	アプリ運用 ヘルスポイント精算・成果評価		56,960 千円
令和5年度	ヘルスポイント精算・成果評価		53,000 千円

### 4 実施方法

- 公募型プロポーザルを実施する。
- 事業効果を高めるため、システム構築を含め、5年間の事業とする。
- ヘルスケアポイントのシステムを構築する。
- KDB システム(健診データ、レセプトデータ等)を活用し、それぞれに最適な情報の提供、健康づくりイベント等を開催し、健康への関心を高め、行動変容を促し、医療費の削減につなげていく。

5 契約及び運用に向けてのスケジュール

令和元年10月 4日(議会閉会日) 応募要項・基本仕様書の公表  
10月31日 提案書提出期限  
11月 6日 業者選定審査会開催(プレゼンテーションの実施)  
11月 8日 選定事業者の特定 → 11月中旬 契約締結  
※随時、国保データの提供について市町村の同意を得る  
令和2年 4月 1日 運用開始(同意が得られた市町村の国保加入者)